

ホテル名	十勝川温泉 観月苑							
ホテル概要	地域	北海道	業態	温泉ホテル	客室数	104 室	参加形態	モデル施設
	所在地	北海道河東郡音更町十勝川温泉南14-2			URL	http://www.kangetsuen.com/		

テーマ	温泉・水光熱使用量の削減
カテゴリー	施設診断によるコストダウン
部門	施設

改善の背景	客室露天風呂（室）に多量の温泉を供給しているため、大浴場の浴槽に送る温泉量が不足して、契約量以上の温泉を使用し、かつ給湯や給水も使用して、給湯の原水である水道と加熱用の重油使用量が増大し、温泉も過剰に使用していた。	
改善の内容	<p>(改善前)</p> <p>客室掛け流し露天風呂を適温に保つために、常時温泉（53℃）に給水を混ぜて調温して浴槽に送っていたため、温泉の浴槽に湯温を保つために、多量の温泉を使用していた。</p>	
	<p>(改善後)</p> <p>浴槽に蓋をもうけ、温泉を浴槽の底部に流し入れるよう湯口を改造、給水栓を設置した。</p> <p>浴槽に蓋を設けて、浴槽からの放熱量を減らし、温泉と水の混合を中止して浴槽に 53℃の温泉を浴槽の底部近くに供給し、湯温は利用時に水と希釈して調温する。</p>	
改善のポイント	<ol style="list-style-type: none"> ①客室露天風呂や家族風呂などの掛け流し浴槽は、常時蓋をして放熱量を減らす。 ②上記浴槽には給水栓を設けて利用者が水で希釈して、任意の湯温にする。 ③上記の結果湯温維持のための温泉供給量を減らし、大風呂の温泉量を増やしたり、温泉貯留槽に貯めて浴槽の湯張りに使う。（＝温泉の有効利用） ④加熱して使用する低温温泉は、循環式とする。 	
改善の効果	<ol style="list-style-type: none"> ①浴槽を可能な限り温泉で運用することで、水道水や加熱燃料（油・ガス）使用量を減らすことができ、温泉浴としてのポテンシャルが向上することによる集客力の向上が期待できる。 ②様々な対策の結果、6月から12月の油使用量が対前年比で84%に減少した。 	